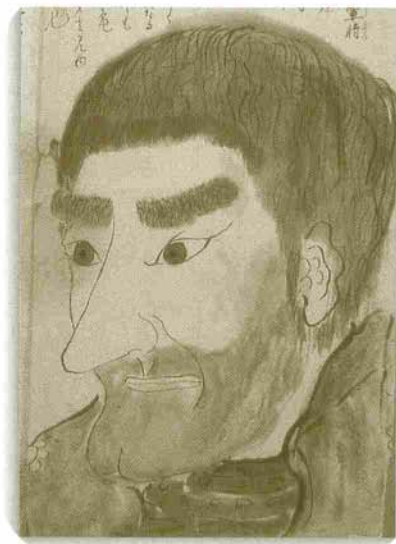


歴史書

9

2011
No. 197



通 信

比較史の可能性／須田 努

藤堂家始祖「三河守景盛」の素顔／榎原 雅治（再掲）

歴史書新刊ニュース〈7・8月〉

歴史書以外の人文社会図書新刊案内〈7・8月〉

歴懇リバイバル2011年フェア出品書目一覧

歴史書懇話会

比較史の可能性

須田 努

(明治大学教授)

はじめに

2010年11月27日、明治大学において「比較史的にみた近世日本—東アジアの中の日本」というシンポジウムが開催された。問題提起：宮嶋博史（朝鮮史）、報告：深谷克己（日本近世史）・久留島浩（日本近世史）・藪田貫（日本近世史）・若尾政希（日本近世史）・井上勝生（日本近代史）、コメント：山田賢（中国近代史）・趙景達（朝鮮近代史）という豪華メンバーであった。その成果に、いくつかの論文を加え、2011年春、『比較史的にみた近世日本』（東京堂出版）が出版された。本書の中で、宮嶋博史さんは「『近世』日本と同時期の朝鮮を比較史的に検討しようとする試みとして、おそらく初めてのものではあったと思われる」と語った。ここから、比較史研究を意識した19世紀研究会も発足した。

“オラが村”にとじこもっていても、日本近世史研究は完結可能であり、また狭い研究テーマであっても史料は多く存在している。よって、大きな問題設定や多様な問題関心を抱くことなく“歴史事象”を“紹介”することはできる。さらに、大きな問題設定や、多様な問題関心を否定する言説がいまだに存在している。

「余計なことに目を向けずに地道に史料と向き合うべき」という語りが、否定の正当性を担保している。学位修得・業績至上主義の弊害であろう。

2011年6月10・11日、韓国の成均館大学が主催する長期プロジェクト「東アジア知性の系譜と歴史認識」の一環として、「近代転換期における東アジア人文知性の伝統と変容」という国際シンポジウムが企画され、小沢弘明さん、大門正克さんとともに、わたしも報告者として招聘された。このシンポジウムでは、東アジアという軸を設定した上で、比較史的検討が行われた。韓国でも東アジアの近代を比較史から理解していこうといった気運が高まっているわけである。

韓国でのシンポジウムの後、朝鮮近代史研究者のカン・ヒュスクさんのお誘いに甘えて、わたしと大門さんは、地元の歴史研究者たちによる、仁川巡見踏査に参加させてもらった。

仁川・横浜という場

現在の日本において、大学院博士課程を修了し、学位を修得しても、歴史学の領域ではアカデミックポストに就くことは至難のことになっている。これは韓国も同様である一と

くに李明博政権以降、この傾向は強いようである。この状況と裏腹の関係として、日本における歴史研究、なかんずく地域史・地方史研究は、非研究職＝在野の研究者によって進められてきた、という事実もある。近年韓国でも、地域史研究が盛んとなり、在野の研究者による調査・研究が進んできているという。日本・韓国ともに、歴史学の領域において、研究者を取り巻く社会情勢と研究環境とは、近似しているのである。

仁川巡見踏査のメンバーは、20代から30代前半のオーバードクター、40代の大学非常勤講師、仁川広域市の高校教員の方々であった。彼らは定期的に研究会を開催し、フィールドワークも行っているとのことである。

仁川には巨大な国際空港があり、日本では一般的にこれが有名であるが、『仁川府史上』（景仁文化社、1995年）、田保橋潔『近代日鮮関係の研究』（朝鮮総督府中樞院、1940年）によると仁川一朝鮮時代は済物浦と呼ばれていた一の概要は、以下となる。

1875年、国交問題に関して強硬な対抗をとる大久保政権は、軍艦雲揚号を江華水道に入れ示威行動を取らせたが、これを攻撃した一つが永宗島の砲台であった。この江華島事件をきっかけとして、翌年、日本は朝鮮を威圧し、不平等条約である日朝修好条規を押しつけ、日本は朝鮮開国を強要した。1879年、代理公使花房義質は、仁川開港を要求する。しかし、朝鮮側は、漢城に近いことを理由に、仁川開港を拒否し続けた。



月尾展望台からみた仁川港と旧租界地

花房は軍事力を背景に朝鮮側を威嚇し、仁川開港を認めさせた（実際の開港は1886年）。

中華街もある仁川を巡見踏査し、こう調べてみると、横浜のことが想起される。仁川と横浜とは以下の視点で比較できる。

①仁川と漢城：横浜と江戸、②仁川と花房：横浜とハリス、③日本による不平等条約の押しつけ：アメリカによる不平等条約の押しつけ。

これらから、暴力を背景にしたアメリカの強引な開港・通商要求、日本はこれと同じ事を東アジアの隣国、朝鮮に行ったという事実に思い至ることは至極簡単である。重要な視点は、朝鮮は日本の植民地となったということは当然として、横浜は一度も戦場とならなかったが、仁川は他国軍隊の上陸と戦闘とを数度経験した、ということである。仁川は、日清戦争・日露戦争における日本陸軍の上陸作戦、そして朝鮮戦争におけるマッカーサー率いる国連軍（実質アメリカ軍）の上陸・激戦の場となった。この意味を、当時、仁川に生きた人びとに視点を定めて問うことにより、比較史は成り立つように

思える。

菅野八郎という存在

嘉永6年(1853)ペリー来航の情報、さまざまなメディアを通じて全国に発信された。陸奥国伊達郡金原田村(現・福島県伊達市保原町)の百姓菅野八郎は、ペリー来航に刺激され、翌嘉永7年2月、「東照太神君」の「霊夢」を見た＝徳川家康の神託をうけた、として意見書をしたため、老中阿部正弘への駕籠訴を決定した。江戸に出た八郎は、ペリーを「目は少し丸く眼中するどく、声色さわやかや也」とまるで会ってきたかのように語り、ペリーの似顔絵(表紙写真)や「北アメリカ州・メカラニカ州」などを描いている。ペリー来航によって、八郎の世界観は変容する。天下国家を意識して政治的に活動しはじめ、安政の大獄により捕縛されると、5年間、八丈島に流罪となる。その後赦免され帰村したのち、慶応2年(1866)、信達騒動の頭取との疑念から捕縛され、2年後維新政府軍によって放免されている—詳細は須田努編『逸脱する百姓』(東京堂出版、2010年)を参照されたい—。

菅野八郎は、民衆運動史・民衆思想史における“有名人”である。先行研究もあり、高校日本史の教科書にも登場するほどである。たしかに、彼の行動力はずば抜けている。ペリー来航が日本社会に与えた影響は大きく、ここから幕末の政治・社会は激動していったことはいまでもない。ペリー来航から10年のち、文

久期尊王攘夷運動は激化し、関東地域では、豪農・一般百姓からも討幕派が形成されていった。

はたして、朝鮮社会ではこのような情勢は到来したのであろうか。朝鮮史研究の領域では、西欧と日本などの外圧への対応は科挙官僚・知識人たちによる衛生斥邪の思想・行動として研究され、大院君の改革政治や開化派官僚の動向として理解されている。

民衆たちはどうであったのか。仁川(済物浦)の農民たちは、イギリス軍・フランス軍・日本軍の上陸・暴力ををどう見ていたのか。先述したように、近年の韓国では、地域史研究が盛んになっているという。期待はふくらむ。

地域(国)ごとに分断されている歴史研究状況の克服をはかり、近世・近代、もしくは19世紀、といった横断的な歴史認識を形成するためには、比較という手法が有効であることは、いまさらいうまでもない。しかしこれは難儀なことでもある。歴史学研究には、史料調査・読解というテクニカルかつ“渋い”能力が欠かせない。個人が、時代を超えて通史的な“実証”研究を行えない最大の理由はここにある—わたしは、日本近世史を専門とするが、戦国期の史料を扱うことは“怖く”てできない—。まして、他国の歴史となると、言語・語学の“壁”が覆い被さっている。ゆえに、比較とする対象は、えてして先行研究や翻訳した研究書に頼らざるを得ない。比較史を行う上での難点である。比較対

象を理解するためには、当該地域(国)の言語を習得することは理想であるが……—わたしは、習ってはいるが、韓国語がまったく上達しない—。

しかし、地域(国)を超えて共同研究グループを結成し、共通テーマにもとづく実証研究を実行することは可能である。先述した、成均館大

学でのシンポジウム参加、仁川での巡見踏査の実りは大きかった。日韓の間で、本格的な比較史を進める気運は高まっている、とわたしは感じている。

(表紙写真) 菅野八郎が描いたペリー像(「あめの夜の夢の咄し」福島県立歴史資料館所蔵)

お詫びと訂正

『歴史書通信』196号（2011年7月号）掲載の榎原雅治先生『藤堂家始祖「三河守景盛」の素顔』において、編集部の不手際により、史料名に誤りがありました。下記のように訂正いたしますとともに、本号に再掲いたします。榎原先生をはじめ関係者の皆様にご迷惑をおかけいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。

誤＝『歴名土代』

正＝『歴名土代』

2頁／右5行目、6行目 3頁／左18行目、右1行目



在士八幡宮。右手に藤棚がある。

藤堂家始祖「三河守景盛」の素顔

榎原 雅治

(東京大学史料編纂所教授)

滋賀県犬上郡甲良町在士の八幡神社は藤の名所として知られている。境内にある藤は、津の藩主藤堂家の祖と仰がれる「三河守景盛」が、応永年間、この地に石清水八幡を勧請したときに植えたものであり、当時は村も藤堂村と呼ばれていたという。周辺には藤堂姓も多く、この地は藤堂家の父祖の地とされ、境内には「藤堂高虎公出生地」の碑も建てられている。毎年5月、藤が満開となる日曜には藤切り祭が行われ、切り取られた藤の花は藤堂家に贈られている。

もっとも近世の藤堂家においても、その父祖についての正確な知識が確証をもって伝えられていたわけではない。二代藩主高次は家臣村瀬吉成らを在士に遣わして、土地の古老たちから父祖についての伝承を聞き取らせている。その結果は、諸書による調査結果とともに、近世中期の伊賀城代藤堂高文の編纂になる『宗国史外篇』に「系統一」としてまとめられている。同書に示された藤堂家の祖は三河守景盛なる人物である。景盛は中原姓で、足利將軍家に仕え、初めて「藤堂」を名乗ったとされる。その子は石見守景能と豊後守景富で、景富の子孫忠高の養子に

三井氏出身の源助（虎高、高虎の父）が入り、津藩の藤堂家につながっていくとされている。

これに対応する記事が東京大学史料編纂所所蔵の『歴名土代』に見られる。『歴名土代』とは、山科家で作られた中世後期から近世初頭にかけての四位・五位の官人の叙位記録であるが、そこからは末尾に示したような系譜が作成できる。

『宗国史外篇』の記述は近世初期における現地での聞き取り調査やさまざまな史料の調査を踏まえた研究成果であり、近世の大名系図に時に見られるような他家の系譜からの借用とは異なるが、それが朝廷の地下官人の叙位記録となぜ一致するのか、唐突という印象はぬぐえない。また応永ごろの人物とされる「三河守景盛」とは、一体どこでどのような活動をした人物なのか、その素顔は杳として知られていない。

一方、「藤堂豊後守」の名前は中世の公家日記の中にとときどき顔を出す。たとえば、文明13年（1481）正月5日、年始の挨拶に諸家を訪れた山科家の家司大澤久守に対し、広橋家では「藤堂豊後」と「左衛門大夫」が応対している（『山科家礼記』）。逆に長享3年（1489）4月4日には、

広橋家から使者として「藤堂豊後」が山科家を訪れている（同）。また文明10年（1478）7月10日には、3日前の七夕用に幕府御倉の初井から禁裏に貸し出された花瓶と盆が、伝奏の広橋兼顕を通じて初井に返却されているが、このときの初井の受取状の宛先には「藤堂豊後守殿」と記されている（『兼顕卿記』）。また、その4日後、14日には盆の灯籠が広橋家から禁裏に進上されているが、この灯籠は「藤堂修理亮景家」が作ったものだった（同）。いずれも広橋家の家司としての藤堂氏の姿を伝えるものである。『兼顕卿記』にはこの他にも家司として「左衛門大夫景敦」「景持」らの名前が散見されるが、彼らはいずれも『歴名土代』に載る名前である。

では「三河守景盛」も広橋家の家司だったのだろうか。その姿を史料中に見出すことができるだろうか。

南都の三大勅願法会についての記録『三会定一記』によれば、長享2年（1488）12月の維摩会の講師を勤めた権律師興意は広橋家の侍「藤堂参河守中原景能朝臣」の子であった。また寛正6年（1465）冬、当時広橋家が知行していた越前国坪江郷藤沢名の返還を求めて興福寺の学侶・六方が幕府に訴える事件があった。広橋家では「故なき強訴」としつつも、当主綱光の放氏をちらつかされ、やむなく返還に応じているが、このときの去渡状は「東堂三川入道明誉」が作成している（『大乘院寺社雑事記』寛正6年12月27日条）。これが興意の父である「三河守景能」のこと

であろう。「景能」は『歴名土代』では「三河守景盛」の長子とされている。

遡れば「景能」の名前は、応永年間に足利義持の伝奏として活躍した広橋兼宣の家司として『兼宣公記』に何度か登場する。応永30年（1423）、義持の伊勢参詣に随行した兼宣には「右京亮景能」らの家司が従い、翌年の兼宣の春日社参詣や兼宣の息宣光の南都下向にも「右京亮景能」が従っている（同記応永31年4月19日条、応永31年12月18日条）。また応永23年（1416）暮、翌年正月の白馬節会に参陣する官人の交名が姉小路明継から節会内弁の兼宣に提出されているが、その副状は「藤堂右京亮」に対して兼宣への披露を求める形式になっている（応永24年正月7日条）。景能が兼宣から信頼される家司であったことが知られよう。

注目されることに、『兼宣公記』をめぐれば、景能と同時期の広橋家に「三河入道」と呼ばれる人物が仕えていたことがわかる。たとえば応永31年2月15日には、兼宣は「三河入道休所」で、宣光や弟の慈恩院兼暁とともに朝食をとっている。当時、朝食に親しい人を選んで会食するのは公家社会で広く見られる習慣だった。同年11月21日には広橋家で開かれた粥の宴を「三河入道」が差配している。また応永33年3月25日、兼宣の母が逝去すると、翌日、兼宣は死に接する穢れを回避するため、自邸を出て「三河入道休所」で弔問客と対面している。

この「三河入道」なる人物は近江とも関係をもっていた。応永35年正

月、義持が死去、その6月、前年に
広橋家から没収されていた近江国羽
田庄が兼宣に返還されることになっ
た。さっそく兼宣は「藤堂参河入道」
にこの莊園を「元のごとくに」管理
することを命じている。

同人らしき人物が初めて史料上に
姿を現すのは『兼宣公記』応永11年
(1404) 6月20日条である。この日、
足利義満の北山殿で営まれていた五
壇法が結願した。この法会は兼宣が
担当の奉行として仕切っていたのだ
が、法会の開始に先立って義満の娘
の単衣と鏡の箱が兼宣の許に届けら
れている。法会で用いる撫物用だが、
その送状の宛先には「藤堂殿」とあ
る。もちろん兼宣への取次を委ねた
ものである。この「藤堂殿」が「三
河入道」の若き日の姿であろう。

以上から浮かんでくる「三河入道」
の姿は、兼宣から信頼され、広橋家
の家政を仕切る広橋家重臣としての
それである。「右京亮景能」が長じて
「三河守」と名乗ることを考えれば、
この「三河入道」こそが景能の父で
あり、求める藤堂家の始祖「三河守
景盛」であることは明白だろう。

中世の公家の家司に家領と関係の
ある在地の武士が登用され、現地と
京都の両方で活動していたことは日
野家の例などで知られている（菅原
正子『中世公家の経済と文化』吉川
弘文館、1998年）。羽田庄は近江の蒲
生郡に属し、在士とはやや離れている
が、藤堂景盛も、元来近江の住人
であったものが、家領支配の関係で
広橋家と接点が生じ、広橋家に仕え、
朝廷の官位を得るようになったので

はあるまいか。在士に残る景盛に関
する伝承は、そうした史実に基づく
ものではないだろうか。

なお『大乘院寺社雜事記』長享元
年(1487)12月30日条には、「広橋之
内藤堂一門」が悉く討ち死にしたと
の報が記されている。こののちも「藤
堂豊後守」は活動しているが、確か
に景能の子孫と思われる者は見られ
なくなる。『宗国史外篇』は、近世藤
堂家は景能ではなく、その弟「豊後
守景富」の系統に繋がると理解して
いるが、これは長享元年の異変の結
果であるのかもしれない。

寒い日の続いた今年は藤の開花も
遅く、私が在士を訪れた5月上旬、
藤はまだ蕾だった。しかし八幡社の
説明碑を読めば室町の公家日記の中
に隠れていた「藤堂三河守」が、こ
の地では人々の記憶の中に生きてい
ることが知られた。さりげない史料
の記述と現代、その二つがつながる
と実感できたのは、歴史研究にかか
わる者として至福であった。



新刊ニュース

7・8月発行図書 *発売は予定のものもあります

歴史一般

辞典/年表・地図/歴史学・補助学

歴史と和解

黒沢文貴・イアン・ニッシュ編

A 5判 416頁 5,985円 東京大学出版会〔7月刊〕

「忘れてはならない過去の歴史」をいかに「和解の糧」とすることができるか。歴史研究者、戦争体験者らが多彩な角度から考察、複雑に絡みあった近代日本の戦争と植民地支配をめぐる「歴史問題」を解きほぐす。978-4-13-026228-6

考古学

概論・通史/日本/アジア/ヨーロッパ/アフリカ/アメリカ/その他

荒神谷遺跡―出雲に埋納された大量の青銅器

日本の遺跡44

足立克己著

四六判 206頁 1,890円

同成社〔8月刊〕

奇跡の遺物とも言われる出土銅剣358本、銅鐃6個、銅矛16本の詳細を丹念に解説。さらに弥生時代における青銅器のあり様を追究する。978-4-88621-574-1

歴史時代を掘る

市民の考古学10

坂詰秀一著

四六判 192頁 予価1,890円

同成社〔8月刊〕

文字資料のみで解き明かされがちな歴史時代の事象について、考古学調査ではじめてわかった事柄を中心に歴史考古学の楽しさを紹介。978-4-88621-577-2

古代の鏡と東アジア

池上曾根史跡公園協会編

A 5判 200頁 2,520円

学生社〔7月刊〕

卑弥呼の鏡は海を越えたか? 中国鏡・国産鏡・古代東アジアの銅鏡・鉛同位体比から見た三角縁神獣鏡の基礎的研究と国産・非国産説など白熱の討論を展開。978-4-311-30083-7

邪馬台国と纏向遺跡

奈良県立図書館情報館編

四六判 200頁 2,310円

学生社〔7月刊〕

邪馬台国の所在地と纏向で土中から姿を現わした大型建物群について上田正昭・石野博信・辰巳和弘・橋本輝彦・千田稔氏達が白熱の激論を交わす。978-4-311-20338-1

邪馬台国時代の阿波・讃岐・播磨と大和

二上山博物館編

四六判 280頁 2,940円

学生社〔7月刊〕

卑弥呼時代の東部瀬戸内、阿波・讃岐・播磨地域に見られる囲い木柵墓や積石塚の墓などの特色からヤマト近畿地方との文化的差異を考古学資料から討論。978-4-311-20337-7

邪馬台国時代の丹波・丹後・但馬と大和

二上山博物館編

四六判 264頁 2,940円

学生社〔8月刊〕

二・三世紀の日本海丹波・丹後・但馬の日本海に面した北近畿は地域王墓の巨大な方丘墓や副葬品から南近畿と違う文化圏の存在があった。978-4-311-20335-0

王権と都市の形成史論

弥生時代政治史研究

寺沢 薫著

B 5判 544頁 36,750円

吉川弘文館〔8月刊〕

弥生時代社会の王権誕生論を集成。東アジア世界と倭国の動勢を探り、「卑弥呼共立」の歴史的解释を提示。「日本的」都市の形成に迫る。978-4-642-09324-8

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

鎌倉古社寺辞典

吉川弘文館編集部編

四六判 304頁 2,835円

吉川弘文館〔7月刊〕

約150カ所を取録し、エリア別に由緒や歴史を図版も交え平易に解説。略地図、関係人物略伝、年中行事一覧、索引の付録も充実。

978-4-642-08060-6

近代化する日本

日本の対外関係7

荒野泰典・石井正敏・村井章介編

A 5判 360頁 6,300円

吉川弘文館〔8月刊〕

条約・文化・貿易などの局面であたらしい価値観に直面し、欧米列強の「外圧」から近代的再編を成し遂げた、「開港」後の日本を描く。

978-4-642-01707-7

新編 神社の古代史

岡田精司著

四六判 232頁 2,730円

学生社〔7月刊〕

大神神社、伊勢神宮、宗像大社、住吉大社、石上神社ほか史上重要な神社、氏神・巫女・宮中の祭りなど、古代の神々と神社・原初の祭りの実態を解明。978-4-311-20302-2

日本の古代国家形成と東アジア

鈴木靖民著

A 5判 400頁 11,550円

吉川弘文館〔8月刊〕

7世紀の国際関係に焦点をあて、中国・朝鮮半島諸国と日本との交流史を読み解く。日本の動向、日本の政治・文化への影響にも言及。

978-4-642-02484-6

中世武士団構造の研究

歴史科学叢書

田中大喜著

A 5判 370頁 10,500円

校倉書房〔7月刊〕

日本の歴史は長期間、世襲制の職業戦士である武士団の支配が継続した。本書は院政期から室町期における武士団に焦点を合わせて、その存在形態を追究。978-4-7517-4320-1

日本中世公家政治史の研究

歴史科学叢書

市沢 哲著

A 5判 470頁 12,600円

校倉書房〔8月刊〕

院政期における領有秩序の形成とその変質を考え、つぎに鎌倉後期の公家政権がその変質にどう対処したかを、さらに建武新政の歴史的意味について論考。978-4-7517-4330-0

中世びとの信仰社会史

大喜直彦著

A 5判 420頁 10,500円

法蔵館〔8月刊〕

中世に生きた人びとはどのような宗教観を持っていたのか。とくに身体との関係に注目し、文献史料だけでなく絵画などの周辺資料も駆使して明らかにする最新研究の成果。

978-4-8318-7674-4

鎌倉幕府の検断と国制

西田友広著

A 5判 288頁 9,450円

吉川弘文館〔7月刊〕

幕府の刑事訴訟・処罰「検断」を幕府法や守護注進状から解明。朝廷の衾宣旨や寺社権門の検断を検討し、日本中世の国制に迫る。

978-4-642-02902-5

足利義満と禅宗

上田純一著

四六判 220頁 2,100円

法蔵館〔8月刊〕

室町幕府三代將軍足利義満は、日明貿易（勘合貿易）の推進者として知られる。だが、その実務は主に禅僧が担っていた…。幕府の裏で外交を取り仕切った禅僧たちの素顔に迫る。978-4-8318-7585-3

足利義政と日野富子 一夫婦で担った室町將軍家一

日本史リブレット人40

田端泰子著

A 5変型判 100頁 840円

山川出版社〔7月刊〕

足利義政と日野富子が生きた、中世でもまれにみる混沌とし活気あふれる時代を、天皇家から民衆に至る様々な視点から描く。

978-4-634-54840-4

その後の東国武士団

源平合戦以後 歴史文化ライブラリー-327

関 幸彦著

四六判 236頁 1,785円

吉川弘文館〔8月刊〕

佐竹・宇都宮・新田・足利・武田・千葉氏…。彼らは、室町・戦国期をどのようにして生き抜いていったのか。その栄枯盛衰に迫る。

978-4-642-05727-1

地方文人の世界

江戸時代史叢書27

高橋 敏著

四六判 190頁 2,100円

同成社〔7月刊〕

東海道原宿の大地主植松蘭溪が池大雅や円山応挙から京都画壇の大物との交流を深める様子を中心に、化政期の地方文人の姿を軽快に描き出す。

978-4-88621-576-5

徳川幕府領の経営と代官

江戸時代史叢書28

和泉清司著

四六判 288頁 予価2,940円

同成社〔8月刊〕

幕藩体制の権力的・財政的基盤たる公儀御領をめぐる代官たちの活動の様子を明らかにするとともに、その経営実態を平易に解説する。

978-4-88621-571-0

川柳旅日記 その一

江戸時代史叢書29

山本光正著

四六判 250頁 予価1,995円

同成社〔8月刊〕

幕府による交通網整備の結果、伊勢参宮など長旅を楽しむようになった江戸庶民の様子を、数々の旅日記と川柳からいきいきと描き出す。

978-4-88621-575-8

江戸城大奥と立山信仰

福江 充著

A 5判 500頁 10,500円

法蔵館〔8月刊〕

新出史料を基に、民衆から大名家、江戸城大奥にまでいたるネットワークを築いた、立山の宗教者たちの行動を解明した画期的大著。

978-4-8318-7436-8

武家に嫁いだ女性の手紙

貧乏旗本の江戸暮らし

妻鹿淳子著

四六判 216頁 2,310円

吉川弘文館〔8月刊〕

開国で揺れる江戸の世情や家相続の実態を手紙から読み解く。江戸時代後期の女性の生活や心情を、自ら綴った言葉から明らかにする。

978-4-642-08062-0

京都療病院お雇い医師シヨイベ

滞日書簡から

森本武利編著 酒井謙一訳

A 5判 346頁 7,350円

思文閣出版〔7月刊〕

シヨイベの生涯をはじめ、ほかのお雇い外国人達との交流や居留地での生活から明治初期の京都の風俗にいたるまでを、生き生きとよみがえらせる。

978-4-7842-1581-2

近代医療のあけぼの

幕末・明治の医事制度

青柳精一著

A 5判 576頁 4,935円

思文閣出版〔7月刊〕

長年医療ジャーナリズムに従事してきた著者が、幕末・明治の医事制度と社会背景を膨大な史料により考証。よりよい医療を求めた先達の歩みをたどる。

978-4-7842-1583-6

美濃部達吉と吉野作造 一大正デモクラシーを導いた帝大教授

日本史リフレット人95

古川江里子著

A 5変型判 104頁 840円

山川出版社〔7月刊〕

政党内閣誕生に貢献し、日本の民主主義の礎を築いた美濃部と吉野。両者の奮闘と挫折から、戦前の民主的思想の問題や背後にある政治・社会について考える。

978-4-634-54895-4

明治維新と豪農

古橋唯克の生涯 歴史文化ライブラリー-326

高木俊輔著

四六判 208頁 1,785円

吉川弘文館〔7月刊〕

草莽の志士となった者、村のために生きた者…。幕末明治を生き抜き、地主として村役人を兼ねた上層農民「豪農」の知られざる実像。

978-4-642-05726-4

写真集 大正の記憶

学習院大学所蔵写真

学習院大学史料館編

A 4判 256頁 12,600円

吉川弘文館〔8月刊〕

大正天皇の即位や裕仁親王(昭和天皇)の立太子、関東大震災…。"大正時代"を写し撮った第一級資料。豊富な写真でいま甦る。

978-4-642-03804-1

若き特攻隊員と太平洋戦争

その手記と群像 歴史文化セレクション

森岡清美著

四六判 336頁 2,520円

吉川弘文館〔7月刊〕

誰しも死にたくない…。迫り来る死の足音を聞きながら、切々と綴った彼らの手記をもとに、任務の達成に殉じた若者たちの群像を描く。 978-4-642-06373-9

GHQ 知られざる諜報戦 一新版・ウイロビー回顧録

延嶺植修 平塚柱緒編

四六判 352頁 1,890円

山川出版社〔7月刊〕

マッカーサーの情報参謀としてGHQ内で隠然たる影響力を發揮したウイロビー少将本人が語る、赤裸々な対共産主義“インテリジェンス”（諜報活動）の内幕。

978-4-634-15016-4

京都府の歴史散歩 上

歴史散歩26

京都府歴史遺産研究会編

B 6 変型判 352頁 1,260円 山川出版社〔8月刊〕

史跡・文化財をたずね歩く都道府県別のシリーズ。本書の構成は下京区・中京区・北区・右京区・西京区。

978-4-634-24626-3

京都府の歴史散歩 中

歴史散歩26

京都府歴史遺産研究会編

B 6 変型判 320頁 1,260円 山川出版社〔8月刊〕

史跡・文化財をたずね歩く都道府県別のシリーズ。本書の構成は左京区・東山区・南区・伏見区・山科区。

978-4-634-24726-0

京都府の歴史散歩 下

歴史散歩26

京都府歴史遺産研究会編

B 6 変型判 336頁 1,260円 山川出版社〔8月刊〕

史跡・文化財をたずね歩く都道府県別のシリーズ。本書の構成は乙訓・南山城・丹波・丹後。

978-4-634-24826-7

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

聖なる学問、俗なる人生 一中世のイスラム学者

イスラムを知る2

谷口淳一著

A 5 判 128頁 1,260円

山川出版社〔7月刊〕

現在も影響力を有するといわれるイスラム学者の役割について、中世の東アラブ地域を中心に明かす。

978-4-634-47462-8

共生のイスラム 一ロシアの正教徒とムスリム

イスラムを知る5

濱本真実著

A 5 判 124頁 1,260円

山川出版社〔7月刊〕

正教徒とムスリムの共生に向けた関係が長期間続いた沿ヴォルガ・ウラル地方を中心に、ロシアの同化政策の変遷と現代の課題を浮き彫りにする。 978-4-634-47465-9

4億の少数派 一南アジアのイスラム

イスラムを知る8

山根 聡著

A 5 判 120頁 1,260円

山川出版社〔7月刊〕

4億の人口を擁しながら、イスラム世界と南アジア世界にとって欠くことのできない「少数派」の歴史的展開を簡潔に紹介する。 978-4-634-47468-0

モンゴル史研究

現状と展望

吉田順一監修 早稲田大学モンゴル研究所編

A 5 判 404頁 8,400円

明石書店〔7月刊〕

世界帝国期の状況や、分裂期、チベット仏教の浸透、清朝による統合を経て近現代に「モンゴル民族」が形成される過程での研究成果と展望を指し示す。 978-4-7503-3429-5

ローマ帝国 一五〇〇年史

絵で見るローマ人の物語

阪本 浩著

A 5 判 144頁 1,890円

新人物往来社〔7月刊〕

日本仏教の母山、比叡山延暦寺の修行場の最高責任者が語る、修行のやり方とその意義。仏教の深遠なる世界がここにある。 978-4-404-04043-5

フランスの歴史【近現代史】

フランス高校歴史教科書 19世紀中頃から現代まで
マリエル・シュヴァリエ他監修 福井憲彦監訳
A 4 変型判 708頁 9,975円 明石書店〔7月刊〕

歴史上の人物の著作や研究文献、豊富なビジュアル資料を用い自ら考える力を育もうとする内容に彼我の歴史教育の違いに目を見張るであろう。 978-4-7503-3412-7

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

完全版 おくのほそ道探訪事典

『随行日記』で歩く全行程
工藤寛正著
菊判 714頁 7,875円 東京堂出版〔7月刊〕

「おくのほそ道」と曾良「随行日記」により旅の全行程を90余の寄泊地で立項して詳解。文学や歴史書では行き届かない様々な情報を網羅集成した。 978-4-490-10800-2

森林破壊の歴史

井上貴子編著
四六判 220頁 2,940円 明石書店〔7月刊〕

生態系の破壊、砂漠化の進行や地球温暖化問題にも関連の深い、日本と世界の森林破壊に焦点を絞り、歴史的に検証する。 978-4-7503-3420-2

法然伝承と民間寺院の研究

平 祐史著
A 5 判 444頁 9,450円 思文閣出版〔7月刊〕

近世社会において、民間の浄土宗寺院はどのような変化をとげてきたのか。歴史民俗と浄土教学史の立場から、民間寺院における近世化の実態に迫る。 978-4-7842-1534-8

比叡山延暦寺 はじめての仏道修行

横山照泰著
四六判 160頁 予価1,680円 新人物往来社〔7月刊〕

ビジュアル選書シリーズ。ローマ帝国の誕生からカエサルの登場、五賢帝の時代、帝国の分裂、そして1453年の滅亡まで、オールカラーで絵画や遺跡の写真を交え紹介。 978-4-404-03983-5

大系真宗史料 文書記録編 7

蓮如法語
真宗史料刊行会編
A 5 判 356頁 予価9,450円 法蔵館〔7月刊〕

蓮如が門徒に語った念仏者の心得・自覚を中心とした法語は、時代が下るとともに書写され語り継がれ、布教の手段となっていた。本巻では蓮如の御文以外の11の言行録を収載する。 978-4-8318-5066-9

好胤のこたば

高田好胤著
四六判 192頁 1,470円 学生社〔7月刊〕

薬師寺で金堂や三重塔を写経で再建した著者が生前に残していた、心をひらき、心にしみ入る三分間のいい話を82話集めた珠玉の言葉集！ 978-4-311-60232-0

仏像の表情 (仮)

入江泰吉著
A 5 判 192頁 予価3,150円 新人物往来社〔8月刊〕

風景・仏像の写真家として高名な入江泰吉が昭和39年に刊行した写真集を完全復刻。現在とは手法が違い(大胆なトリミング、上からの撮影)、迫力ある内容は色あせない。 978-4-404-04007-7

日本神話を語ろう

イザナキ・イザナミの物語 歴史文化ライブラリー325
中村修也著
四六判 220頁 1,785円 吉川弘文館〔7月刊〕

イザナキ・イザナミの国生み・神生み物語を中心に『古事記』神話をわかりやすく読み解く。魅力あふれる日本神話の世界へ読者を誘う。 978-4-642-05725-7

中世 歴史と文学のあいだ

歴史文化セレクション
大隅和雄著
四六判 312頁 2,415円 吉川弘文館〔8月刊〕

『平家物語』『太平記』『沙石集』など数々の古典は、いかにして中世に現われたのか。文化史の第一人者が、模索し続けた感動の書。 978-4-642-06374-6

中国絵画史（新装版）全4冊

鈴木 敬著

B 5判 本文編＝平均322頁 図版編＝平均366頁
全4冊特価168,000円（12年3月末まで）吉川弘文館〔7月刊〕

中国絵画の碩学による日本初の本格的通史。紀元前から明の時代まで、内外の研究成果と新出の素材を駆使した大著を、待望の限定復刊。 978-4-642-08167-2

失業と救済の近代史

歴史文化ライブラリー328

加瀬和俊著

四六判 236頁 1,785円 吉川弘文館〔8月刊〕

戦前期までの失業問題の歴史を、政治的・社会的影響にも触れ、政府による失業救済事業とともに探る。今日の問題解決の糸口を学ぶ。 978-4-642-05728-8

中国農村の民間藝能

太湖流域社会史口述記録集2

佐藤仁史・太田出・藤野真子・緒方賢一・朱火生編著

A 5判 450頁 4,725円 汲古書院〔7月刊〕

民間藝能に関するインタビューと藝人から提供された宝巻とから現代江南農村の藝能と上演環境の実態に迫る口述記録集である。 978-4-7629-2964-9

国語表現論

渡辺 実著

A 5判 324頁 7,875円 塙書房〔8月刊〕

I 言葉にこめられた心を追う、II 思考感情の外化としての言語表現、附録に、新稿「近代文章史が辿った模索と到達の道筋」を加えた国語構文論・国語意味論につづく集大成の書。 978-4-8273-0118-2

年表で読む日本食品産業の歩み(仮題)

西東秋男編

A 5判 336頁 予価2,625円 山川出版社〔8月刊〕

明治～昭和初期の時代を対象にした食品産業に光をあてた年表。食品産業をめぐる社会・経済情勢や国体の動向など、食品と生活の項目を収録。 978-4-634-59070-0

伝 記

異なるリーダーの生き方に学ぶ織田信長・明智光秀事典

加来耕三著

四六判 312頁 2,100円 東京堂出版〔7月刊〕

戦国の英雄・信長を育てた環境、才能、リーダーの器量などを史実をもとに詳述し、主君殺しの悪名を刻まれた光秀の生き方と対比しながら解き明かす。 978-4-490-10804-0

韋昭研究

高橋康浩著

A 5判 288頁 6,000円 汲古書院〔7月刊〕

三国時代・孫呉政権の重臣として『呉書』の選定作業に生涯携わり、学者としても高名な韋昭の生涯を様々な視点から解き明かした一冊である。 978-4-7629-2965-6

地 理

関東の名城を歩く 南関東編

埼玉・千葉・東京・神奈川

峰岸純夫・齋藤慎一編

A 5判 320頁 2,415円 吉川弘文館〔7月刊〕

四都県から精選した名城64を詳細・正確な解説と豊富な図版で紹介。最新の発掘成果に文献による裏付けを加えた新しいガイドブック。 978-4-642-08057-6

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

雑誌

史林 第94巻 第4号

史学研究会 (京都大学大学院文学研究科内) 発行
A 5判 112頁 1,200円 東京堂出版〔7月刊〕

1916年、史学研究会の機関誌として創刊され、歴史学・地理学・考古学の総合学術誌として数々の論考を送り出してきた『史林』が待望の市販化! 年6冊。978-4-490-30671-2

日本歴史 8月号 (第759) = 7月刊
9月号 (第760) = 8月刊

日本歴史学会編集

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円〔送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円〔送料込〕

三年間前払い23,500円〔送料込〕

A 5判 146頁 各780円 吉川弘文館〔7・8月刊〕

学生・院生 一年間5,000円〔送料込〕

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

荒神谷遺跡

〔日本の遺跡44〕

―出雲に埋納された大量の青銅器―
足立克己著 四六判・二〇六頁・一八九〇円
出土した銅剣三五八本、銅鐔六個、銅矛一六本を詳述し、なぜ出雲に埋納されたのか、その謎に迫る。

江戸時代史叢書

②⑦ 地方文人の世界

高橋 敏著 四六判・二五〇頁・二一〇〇円
東海道原宿 (現沼津市) の大地主植松蘭溪を中心に、化政期の地方文人の姿を軽快に描き出す。

②⑧ 徳川幕府領の経営と代官

和泉清司著 四六判・二八八頁・予価二九四〇円
幕藩体制の権力・財政基盤たる公儀御領をめぐる代官達の動向を捉え、その経営実態を実証的に解説。

②⑨ 川柳旅日記その一

山本光正著 四六判・二二四頁・予価一九九五円
東海道の旅を楽しむようになった江戸庶民の様子を旅日記と川柳からいきいきと描く (日本橋見付)。

古代官道の歴史地理〔古代史選書9〕

木本雅康著 A 5判・二八八頁・七三五〇円

沖縄学事始め

泉 武著 四六判・二四〇頁・二五二〇円

弥生時代の考古学〔最新刊〕設楽・藤尾・松本編

④ 古墳時代への胎動

B 5判・二三八頁・五二五〇円

同成社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 (価格が税込)
TEL03-3239-1467 FAX03-3239-1466 振替00140-0-20618
http://homepage3.nifty.com/douseisha E-mail douseisha@nifty.com



歴史書以外の――

人文社会図書新刊案内

2011. 7・8

――明石書店――

原発は差別で動く【新装版】 反原発のもうひとつの視角 八木正編 ……………	四六判	2,310円	7月
コロンビアを知るための60章 二村久則編著 ……………	四六判	2,100円	7月
現代メキシコを知るための60章 国本伊代編著 ……………	四六判	2,100円	7月
中東・イスラーム諸国 民主化ハンドブック 松本弘編著 ……………	A 5判	7,140円	7月
きみたちにおくるうた むすめたちへの手紙 B・オバマ文 L・ロング絵 さくまゆみこ訳 ……………	A 4 変型判	1,575円	7月

――思文閣出版――

越境する漱石文学 坂元昌樹・西横偉・福澤清編 ……………	四六判	2,940円	7月
一九二〇年代東アジアの文化交流Ⅱ 川本皓嗣・上垣外憲一編 ……………	A 5判	2,625円	7月

――東京大学出版会――

東日本大震災 復興への提言 持続可能な経済社会の構築 伊藤滋・奥野正寛・大西隆・花崎正晴編 ……………	四六判	1,890円	7月
表情の感受性 日常生活の現象学への誘い 中田基昭著 ……………	四六判	3,360円	7月
レイチェル・カーソンに学ぶ環境問題 多田満著 ……………	A 5判	2,940円	7月
現代の階層社会Ⅰ 格差と多様性 佐藤嘉倫・尾嶋史章編 ……………	A 5判	5,040円	8月
政策リサーチ入門 仮説検証による問題解決の技法 伊藤修一郎著 ……………	A 5判	2,940円	8月
世間心理学ことはじめ 中村陽吉著 ……………	四六判	2,940円	8月
心のかたちの探究 異型を通して普遍を知る 鳥居修晃・川上清文・高橋雅延・遠藤利彦編 ……………	A 5判	4,620円	8月

――同成社――

障害児教育と日本の文学 江口季好著 ……………	A 5判	2,100円	7月
-------------------------	------	--------	----

――法蔵館――

地球と人間のつながり 鍋島直樹・玉木興慈・井上善幸編 ……………	A 5判	3,780円	7月
----------------------------------	------	--------	----

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

8月6日(月)午前8時15分広島に、9日(木)午前11時2分長崎に原爆が落とされてから今年で66年になります。ご存知のように、1996年、広島原爆ドームは「顕著で普遍的な意義を有する出来事と直接にまたは明白に関連するもの」として、世界文化遺産に登録されました。人類にとっての「負の遺産」です。原爆を知らない私たち“後の世代”は、その「歴史」を読み継ぎながら、今も絶える事なく続く戦争を、どうすれば世界からなくす事が出来るのか、考えてゆきたいものです。

今年の夏も歴懇は、戦争を歴史として捉えた専門書を数多く揃えて「戦争は他人事ですか?」フェアを展開します。どうぞ、よろしくお願い致します。

◇ 柏書房退会

1992年から活動を共にしてきました柏書房が退会となりました。

◇ ミネルヴァ書房休会

2009年から活動を共にしてきましたミネルヴァ書房が休会となりました。

.....歴懇フェアのお知らせ.....

●「戦争は他人事ですか?—近現代戦を知る」フェア

◇浦和 須原屋本店 8月末まで

◇神戸 ジュンク堂書店三宮店 8月末まで

●月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ30冊」の連続ミニフェアを下記の5書店で開催中です

◇TENDO八文字屋(天童市) / ◇紀伊國屋書店新潟店(新潟市)

◇ブックデポ書楽(さいたま市) / ◇芳林堂書店高田馬場店(東京都)

◇今井書店グループセンター店(松江市)

●丸善ジュンク札幌店(3階・B2階)で「頑張ろう東北フェア」を開催中です

●ジュンク堂書店新宿店で「これが歴史書だ!」フェアが続いています

第30回目「歴史書懇話会フェア 東洋史」7月16日～8月31日

●ジュンク堂書店渋谷店で「歴史書懇話会 僅少本フェア」を開催中です
僅少本を集めました。既に品切れになって久しい本などもあります。

8月末まで。

●鹿児島大生協中央店で「歴懇フェア」8月12日まで開催

歴史書懇話会
役員幹事改選
のお知らせ

当会は6月10日に平成22年度総会を開き、役員幹事を右記の通り選任いたしました。

代 表 幹 事	(吉川弘文館)	横井真木雄
書 記 ・ 幹 事	(東京大学出版会)	角田 光隆
会 計 ・ 幹 事	(学 生 社)	林 義則
特設店・企画委員会幹事	(刀 水 書 房)	中村 文江
販売委員会幹事	(明 石 書 店)	矢澤 伊作
弘報委員会幹事	(法 藏 館)	西村 明高

歴懇リバイバル2011

秋の共同復刊企画

- * 名著・貴重書・基本図書を復刊！
- * 日本史を中心に宗教史、文学、伝記など幅広いラインナップ！
- * いずれも少数数の復刊です。お早めにご注文下さい！
- * 復刊書目は2011年8月1日現在10社28点。

主催：歴史書懇話会

発売：2011年10月上旬

青木書店	03-5997-4051	刀水書房	03-3261-6190
明石書店	03-5818-1171	同成社	03-3239-1467
学生社	03-3857-3031	塙書房	03-3812-5821
東京大学出版会	03-3811-8814	法藏館	075-343-5656
東京堂出版	03-3233-3741	吉川弘文館	03-3813-9151

※著者名につづく()は初版年、出版社名につづく[]は分類を示します。

※価格は予定価格です。

餓死した英霊たち

藤原 彰著 (2001)

四六判 240頁 2,625円

青木書店[日本近代史]

日本軍戦没者のうち140万人が餓死だった！補給の途絶、降伏の禁止された、「名誉の戦死」の実相を、膨大な資料を駆使して明らかにする。 978-4-250-20115-8

新編原爆詩集

峠 三吉著 (1995)

小B 6判 164頁 1,050円

青木書店[文学]

ちちをかえせ ははをかえせ・・・誰でも一度は耳にしたことのある「序」を持つ名詩集に中野重治・鶴見俊輔氏の解説を付した。 978-4-250-95031-5

韓国がわかる60の風景

林 史樹 (2007)

B 6判 216頁 1,680円

明石書店[アジア文化史]

日常的によく見かける、韓国の人々のありきたりの行動から、韓国文化の特徴や韓国的なものの方・考え方を提示する。より深く韓国を理解するために最適の本。 978-4-7503-2528-6

神道概説

鎌田純一著 (2007)

四六判 240頁 2,520円

学生社[宗教]

「神道」とはなにか？日本文化の根底にあり日本人の風俗・習慣とともに継承されてきた神道。日本文化と神道のすべてを網羅し系統的にわかりやすく解説する。 978-4-311-20312-1

南北朝内乱史論

佐藤和彦著 (1979)

A 5判 424頁 6,510円 東京大学出版会[日本中世史]

978-4-13-020061-5

南北朝内乱を底辺でつき動かした民衆の姿、悪党の活躍に視点を据え、内乱を階級闘争史の観点からとらえ直す。

中世を読み解く 古文書入門

石井 進著 (1990)

B 5判 224頁 3,780円 東京大学出版会[日本中世史]

「古文書を読む」とは、中世史研究の出発点であると同時に目標の一つ。二十数点の古文書を読みながら、中世社会の知られざる姿を再現する。 978-4-13-022011-8

太平洋戦争とアジア外交

波多野澄雄 (1996)

A 5判 328頁 5,040円 東京大学出版会[日本近代史]

大戦期のアジア外交の形成と展開を明らかにし、日本の戦争目的とされた「民族解放」が政策的にどのような意味を持っていたかを検証する。 978-4-13-030107-7

日本古代人名辞典

阿部 猛編著 (2009)

菊判 820頁 15,750円

東京堂出版[日本古代史]

日本古代史を網羅すべく、位階・官職をはじめ、史料上に残る人物13,600名を収録する。すべての項目に出典を明記し解説した労作。 978-4-490-10761-6

インド社会と新仏教

山崎元一著 (1979)

四六判 274頁 2,310円

刀水書房[インド史]

ガンディーに対立してヒンドゥーの差別と闘い、インドに仏教を復興した不可触民出身の政治家の生涯。日本のアンバードカル研究の原典。 978-4-88708-002-7

千利休—ヒト・モノ・カネ

戸上 一著 (1998)

四六判 212頁 2,100円

刀水書房[日本文化史]

高価な茶道具にまつわる美と醜の世界を、視野に入れない従来の利休論にあきたらなかつた筆者が、書き下ろした利休の実像。 978-4-88708-210-6

増補改訂古代官職辞典

阿部 猛編 (2007)

A 5判 608頁 9,975円 同成社〔日本古代史〕

古代の官職制度について『古事類苑』ほか先行諸研究を参照し、複雑なその内容を簡潔に整理整頓した、古代史・文学研究者に必須の事典。 978-4-88621-415-7

日本中世の社会と仏教

平 雅行著 (1992)

A 5判 534頁 10,500円 塙書房〔仏教史〕

本書は浄土教一専修念仏の実態を実証的に再検討し、浄土教中心史観からの脱却を図り、古代中世仏教史像の組替を企画した意欲作。 978-4-8273-1091-7

日本古代の氏族と天皇 (オンデマンド版)

直木孝次郎著 (1964)

A 5判 374頁 7,350円 塙書房〔日本古代史〕

“記紀伝承の批判的考察”の方法により日本古代国家の特色、古代天皇制の歴史的 성격に、著者独自の見解を展開【OD版に付注文扱】 978-4-8273-1645-2

古代王権の祭祀と神話 (オンデマンド版)

岡田精司著 (1970)

A 5判 458頁 9,450円 塙書房〔日本古代史〕

古代における宗教と国家権力とのかかわりを一記紀神話の政治的性格のみならず、それを具体的に古代国家においてどのように機能を発揮したかを考察【OD版に付注文扱】 978-4-8273-1649-0

日本古代財政史の研究 (オンデマンド版)

藺田香融著 (1981)

A 5判 440頁 9,450円 塙書房〔日本古代史〕

正倉院蔵の天平期正税帳や財政文書等の基礎的研究を通じて、古代国家財政の機構・運用の実態に迫り、その成立・展開から崩壊にいたる全過程を鳥瞰【OD版に付注文扱】 978-4-8273-1646-9

日本古代の貴族と地方豪族 (オンデマンド版)

藺田香融著 (1992)

A 5判 344頁 7,875円 塙書房〔日本古代史〕

古代貴族の特色に加え、大古墳群や異色の遺跡の歴史的背景を、新出史料・日朝史料等広く駆使して考察し、豪族の支配的存在形態を解明【OD版に付注文扱】 978-4-8273-1647-6

九州庄園の研究 (オンデマンド版)

工藤敬一著 (1969)

A 5判 348頁 7,875円 塙書房〔日本中世史〕

アジア的封建制究明の視角を提唱した一人である著者が、代表的地方庄園の一つである九州庄園を具体的考察【OD版に付注文扱】 978-4-8273-1648-3

日本歴史地理序説 増補版 (オンデマンド版)

藤岡謙二郎著 (1981)

B 6判 346頁 3,990円 塙書房〔地理学〕

地理学が元来、日本歴史や考古学とよりあって研究される必要をとき、その方法論の展開とともに、歴史時代における地形を、多数の図版に重点おきふ復元する。【OD版に付注文扱】 978-4-8273-3519-4

日本語方言文法の世界 (オンデマンド版)

藤原与一著 (1969)

B 6判 324頁 3,570円 塙書房〔言語学〕

研究方法・文と連文・話部・語詞・発展的動向など分析的見地に基づき、総合的に把握した日本語構造論【OD版に付注文扱】 978-4-8273-3566-8

日中外交史 一北伐の時代一 (オンデマンド版)

白井勝美著 (1971)

B 6判 206頁 2,100円 塙書房〔日本近代史〕

満州事変前夜の大陸を席捲した国民革命軍北伐の嵐。その渦中で、南京・漢口事件・張爆死など複雑に展開する事象に日本はいかに対応したか、その全貌を描く。 978-4-8273-4539-1

古代仏教の中世的展開

村山修一著 (1976)

A 5判 372頁 10,500円 法蔵館〔仏教史〕

天台・真言の中世への展開をあとづけて、古代仏教の日本文化への影響力を述べている。比叡山延暦寺や葛城川明王院の史料調査。 978-4-8318-6514-4

徴兵制と近代日本 1868—1945

加藤陽子著 (1996)

四六判 304頁 3,045円 吉川弘文館〔日本近代史〕

徴兵令制定から、兵役法廃止まで70余年の度重なる改変過程と軍部・政府間の攻防を辿り、日本近代国家の特質を抉出。

978—4—642—07496—4

飛鳥の宮と藤原京

よみがえる古代王宮 歴史文化ライブラリー249

林部 均著 (2008)

四六判 272頁 1,890円 吉川弘文館〔日本古代史〕

飛鳥にはどのような王宮や施設が造られ、整備されていたか。考古学の成果と『日本書紀』により、その姿が生き生きとよみがえる。

978—4—642—05649—6

大飢饉、室町社会を襲う！

歴史文化ライブラリー258

清水克行著 (2008)

四六判 224頁 1,785円 吉川弘文館〔日本中世史〕

慢性的な飢餓に直面し生きていた室町人。現代にも通じる飢餓と飽食の残酷な構造をえぐりだし、室町時代の実相を描き出す。

978—4—642—05658—8

藤原行成 (人物叢書)

黒板伸夫著 (1994)

四六判 320頁 2,205円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

平安時代中期の公卿。三蹟の一人。抜群の政治感覚で道長政権下で活躍。その日記『権記』をもとに貴族官僚の実像に迫る。

978—4—642—05199—6

奥州藤原氏四代 (人物叢書)

高橋富雄著 (1958)

四六判 240頁 1,995円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

僻遠の奥州に燦然たる文化と富裕な平泉王国を建設。清衡以下四代の事蹟とその興亡の跡を解明する。

978—4—642—05094—4

平 清盛 (人物叢書)

五味文彦著 (1999)

四六判 354頁 2,205円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

平安時代末期の武将。『平家物語』の語る虚像を剥ぎ、朝廷の政治世界に初めて武家政権を開いた武人の生涯を描く。2012年大河ドラマ主人公。

978—4—642—05212—2

源 義経 (人物叢書)

渡辺 保著 (1966)

四六判 268頁 1,995円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

鎌倉時代前期の武将。赫々たる武勲と数奇な運命！ いっさいの粉飾をぬぐい、正確な史料により描いた“悲劇の英雄”の伝。

978—4—642—05042—5

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴史書懇話会特設店

- | | | |
|-----------|-------|--|
| ジュンク堂書店 | 仙台店 | 〒980-0021 仙台市青葉区中央3-6-1
仙台TRビルB1F
☎022-265-5656 |
| 岩瀬書店 | 富久山店 | 〒963-8051 郡山市富久山町八山田
字大森新田36-1
☎024-936-2220 |
| 煥乎堂 | 本店 | 〒371-0023 前橋市本町1-2-13
☎027-235-8111 |
| 須原屋 | 本店 | 〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-3-20
☎048-822-5321 |
| 岩波ブックセンター | 信山社 | 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3
☎03-3263-6601 |
| 東京堂書店 | 本店 | 〒101-0051 千代田区神田神保町1-17
☎03-3291-5181 |
| 芳林堂書店 | 高田馬場店 | 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場
1-26-5 F Iビル
☎03-3208-0241 |
| ジュンク堂書店 | 池袋本店 | 〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-15-5
☎03-5956-6111 |
| 有隣堂 | 本店 | 〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町1-4-1
☎045-261-1231 |
| Booksなかだ | 本店 | 〒939-8212 富山市掛尾町180-1
☎076-492-1192 |
| うつのみや | 柿木島本店 | 〒920-0962 金沢市広坂1-1-30
☎076-234-8111 |
| 平安堂 | 長野店 | 〒380-0825 長野市末広町1355-5
☎026-224-4550 |
| 精文館 | 書店 | 〒440-8517 豊橋市広小路1-6
☎0532-54-2345 |
| ちくさ正文館 | 本店 | 〒464-0075 名古屋市中種区内山3-28-1
☎052-741-1137 |
| ジュンク堂書店 | 京都店 | 〒600-8005 京都市下京区四条富小路角
☎075-252-0101 |
| 旭屋書店 | 本店 | 〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-12-6
☎06-6313-1191 |
| ジュンク堂書店 | 大阪本店 | 〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20
堂島アバンザ1～3F
☎06-4799-1090 |
| ジュンク堂書店 | 千日前店 | 〒542-0075 大阪市中央区難波千日前12-7
Y. E. S. N A M B Aビル
☎06-6635-5330 |

ジュンク堂書店	三宮店	〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-6-18 ☎078-392-1001
フタバ図書	T E R A	〒735-8588 広島県安芸郡府中町大須2-1-1 ダイヤモンドシティ・ソレイユ ☎082-561-0770
りーぶる	天神	〒810-0001 福岡市中央区天神4-4-11 福岡ショッピングプラザ6F ☎092-713-1001
ジュンク堂書店	福岡店	〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-13 天神 MMT ビル ☎092-738-3322

2011年8月現在

歴史書懇話会ホームページ

<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>

歴史書懇話会会員社ホームページ

青木書店	http://www.aokishoten.co.jp/
明石書店	http://www.akashi.co.jp/
校倉書房	http://www.azekurashobo.com/
学生社	http://www.gakusei.co.jp/
汲古書院	http://www.kyuko.asia/
思文閣出版	http://www.shibunkaku.co.jp/
新人物往来社	http://www.jinbutsu.co.jp/
東京大学出版会	http://www.utp.or.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://homepage3.nifty.com/douseisha/
塙書房	http://www.hanawashobo.co.jp/
法蔵館	http://www.hozokan.co.jp/
ミネルヴァ書房	http://www.minervashobo.co.jp/
山川出版社	http://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

人種差別の世界史

白人性とは何か？

藤川隆男著 時代と共に変化する人間社会、白人性の概念、差別意識。身近な処から世界へ 四六上製 二七四頁 ￥二四一五

ギリシアの古代

歴史はどのよう
に創られるか？ 刃水歴史全集81
R・オズボン著／佐藤昇訳 四六上製 二六一頁 ￥二九四〇

古代ギリシア史の重要トピックに、新しい光を当てると見えてくる！ 古典期までの歴史とその研究法の基礎

生まれる歴史、創られる歴史

アジア・アフリカ史研究の最新から

永原陽子編

A5上製 二四〇頁 ￥三〇〇四

多様な史料を用いて、アジア・アフリカの様々な力の交渉と交流の場で「歴史」が描かれ創られていく過程を論じる7人

ヨーロッパの北の海

北海・バルト海
の歴史D・カービー、M.L・ヒンカネン著
玉木俊明・牧野正憲・谷澤毅・根本聡・柏倉知秀訳北海・バルト海の古代から現代まで、文化・社会・経済・政治のすべて
A5上製 四五二頁 ￥六三〇〇パーソナル・ナラティブの
ブックレット・シリーズ
発売開始Memory and
Narrative Series

- No.1 : *Life Story of Mrs Elvy Morton* :
First Chair of the Leicester Caribbean Carnival
- No.2 : *Life Story of Mrs Claire Wintram* :
A Jewish Woman and Her Identity
- No.3 : *Mrs Jasvir Kaur Chohan* :
Life Story of A Sikh Woman and Her Identity

佐藤清隆編著

イギリスの多民族都市レスターで、10年間続けてきたインタビューの成果を刊行 (Research Centre for the History of Religious and Cultural Diversity : Meiji University, Tokyo)。

日本から世界に向けて発信！

既刊3冊B5並製

1・2巻各2100、3巻¥4830

(詳細はホームページ参照。秋以降続巻)

次回
記本

全101巻・現在第1期51巻 続々刊行・好評です

この1冊から始まる世界史への道

新しい時代の新しい歴史101冊 [内容見本呈]
世界史の鏡 樺山紘一編
四六並製 一六〇頁 各¥一六八〇歴史家たちのユートピアへ―国際歴史学会議の百年
樺山紘一著 〇巻 ◆歴史家の苦悩と喜びを振り返るハイチの栄光と苦難―世界初の黒人共和国の行方
浜忠雄著 地域6 ◆独立後200年の危機。ハイチから見た世界史イタリア都市の諸相―都市は歴史を語る
野口昌夫著 都市4 ◆歴史が層になつて見える都市本を読むデモクラシー―読者大衆の出現
宮下志朗著 情報3 ◆日仏庶民の読書初めはいつか？ナイール―地域をつむぐ川
加藤博著 地域7 ◆文明の十字路／人種と民族のつぼイブラヒム、日本への旅―ロシア・オスマン帝国・日本
小松久男著 地域10 ◆アジア主義者と深い絆中国明末のメディア革命―庶民が本を読む
大木康著 情報4 ◆500年前の輸入り小説大流行ジハードの町タルスース―イスラーム世界と
太田敬子著 都市3 ◆聖殿のための前線基地

森と川―歴史を潤す自然の恵み

池上俊一著 環境9 ◆ヨーロッパ中世の人と自然。新しい環境史

イギリス発見の旅―学者と女性と観光客
指昭博著 情報6 ◆イギリス人の「お国意識」誕生を探る農業と遊牧の交わる都北京
妹尾達彦著 環境2 ◆ユーラシア大陸全体を俯瞰して北京を語る【価格は税込】
〒101-0065 千代田区西神田2-4-1
東方学会本館

刃水書房

tel. 03-3261-6190 fax. 03-3261-2234
http://www.tousuishobou.com

[新版 ウィロビー回顧録]

GHQ 知られざる 諜報戦

C.A. ウィロビー 著 禎延 監修 平塚 絳 編
A5判 352頁 1890円

マッカーサーの右腕だった情報参謀が明かす、占領下の東京で繰り広げられた壮絶なインテリジェンス戦争の内幕。



年表で読む 日本食品産業の歩み

[明治・大正・昭和前期編] 西東秋男 著 A5判 336頁 2625円

食べる前に読む! 日本人の食品に対するこだわりと、それを生み出した企業の努力を知らずに近代の食品は語れない。本格的な食品・企業史年表。

[歴史散歩 26] 京都府の歴史散歩 上 中 下

京都府歴史遺産研究会 編 B6変型判 平均350頁 各1260円

史跡・文化財を訪ね歩くシリーズの最新巻。観光だけではなく、旅の奥深い魅力を掘り起こすハンディーなガイドブック。現地で役立つ情報が満載。

山川
MOOK
4

安野光雅

A4変型判 232頁 2310円

津和野に生まれ、戦後、教員となり上京する。やがて天性の画家が花開く。その時々に出会った人たちが、それぞれの安野光雅を語る。なぜ、あれほど美しい絵が描けるのか… 多くの人が魅了される「安野ワールド」の謎に迫る。 9月1日発売

阿川佐和子 澤地久枝
谷川俊太郎 半藤一利
藤原正彦 ほか豪華執筆陣

⑧ 4億の少数派
[南アジアのイスラーム]

山根聡

⑤ 共生のイスラーム
[ロシアの正教徒とムスリム]

濱本真実

② 聖なる学問、俗なる人生
[中世のイスラーム学者]

谷口淳一

シリーズ イスラームを知る 各1260円

95 美濃部達吉と吉野作造
[大正デモクラシーを導いた帝大教授]

古川江里子

40 足利義政と日野富子
[夫婦で担った室町将軍家]

田端泰子

日本史リブレット人 各840円

山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13

電話03-3293-8131

http://www.yamakawa.co.jp (表示は税込)

杉山城・本佐倉城・八王子城・石垣山城…。南関東の名城64

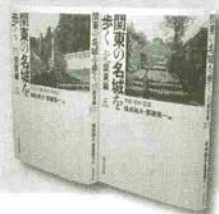
関東の名城を歩く

峰岸純夫・齋藤慎一 編

城郭ファン必読

南関東編「埼玉・千葉・東京・神奈川」

最新の発掘成果・文献による裏付けを加え、新しいガイドブック誕生！ 2415円 ● 7月の新刊！ 内容案内送呈
〔既刊〕北関東編「茨城・栃木・群馬」(2巻) 2310円



武家に嫁いだ女性の手紙

妻鹿淳子著 一貧乏旗本の江戸暮らし 2310円 ● 8月の新刊
儉約・出世・お受嫁・就活・相続。女性の目から見た、旗本の生活を浮き彫りにする。

歴史文化セレクション

日本神話を語ろう

イザナキ・イザナミの物語 ● 7月の新刊

中村修也著 「古事記」神話を平易に読み解き、魅力あふれる日本神話の世界へと読者を誘う。 1785円

明治維新と豪農

古橋陣児の生涯 ● 7月の新刊

高木俊輔著 「草莽の志士」となった若村のために生きた者。「豪農」の知られざる実像に迫る。 1785円

その後の東国武士団

源立合戦以後

関 幸彦著 坂東を駆け巡った名族たち。その栄枯盛衰に迫る！ 1785円 ● 8月の新刊

失業と救済の近代史

加藤和俊著 「明日は我が身」の失業問題。解決の糸口を戦前に学ぶ 1785円 ● 8月の新刊

「大正時代」を写し撮った第一級資料
四七七枚の貴重な写真でいま魅了！

大正二〇〇年

写真集 大正の記憶

学習院大学史料館編

明治天皇の大葬、第一次世界大戦への参戦、大正天皇の即位や裕仁親王(昭和天皇)の立太子、関東大震災など、大正の記憶が魅了する貴重な写真集 12600円 ● 8月の新刊 内容案内送呈



歴史文化セレクション

若き特攻隊員と太平洋戦争

森岡清美著 任務の遂行に殉じた若者たちの群像を描く 25200円 ● 7月の新刊

中世歴史と文学のあいだ

大庭和雄著 「平家物語」や「太平記」などの古典から、どのような歴史を読み取るのか。数々の古典は、いかだして中世に現われたのか。 2415円 ● 8月の新刊

王権と都市の形成史論 弥生時代政治研究 寺沢 麗著 36750円 ● 8月の新刊

日本の古代国家形成と東アジア 鈴木謙民著 115500円 ● 8月の新刊

鎌倉幕府の検断と国制 西田友広著 94550円 ● 7月の新刊

浅草寺日記 第31巻 浅草寺日記並記研究会編 105000円 ● 7月の新刊

中国絵画史 全4冊(新装版) 鈴木 敬著 ● 7月の新刊

全4冊セット特別価格168000円(12年3月末まで) 期限後はセット定価189000円(分売可)

「明治」を知れば、いまが見える！ 最大・最新の明治時代総合歴史辞典

明治時代史大辞典 全4巻

宮地正人・佐藤能丸・櫻井良樹編

第1巻11月発売！ 第1巻II 特別価格27300円

以降半年ごとに1冊ずつ巻数順に配本予定(内容案内送呈) 第2巻以降は定価30000円



吉川弘文館

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8
電話 03-3813-9151 (価格は税込)
http://www.yoshikawa-k.co.jp/

歴史書懇話会

会員社名簿

- 青木書店 175-0092 板橋区赤塚8-12-12(板橋営業所)〈担当者・古川 清〉
TEL. 03-5997-4051 FAX. 03-5967-7691
- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5〈担当者・矢澤伊作〉
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3〈担当者・石田 亘〉
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 学生社 123-0864 足立区鹿浜3-27-14〈担当者・林 義則〉
TEL. 03-3857-3031 FAX. 03-3857-3037
- 汲古書院 102-0072 千代田区飯田橋2-5-4〈担当者・宮崎 淳〉
TEL. 03-3265-9764 FAX. 03-3222-1845
- 思文閣出版 605-0089 京都市東山区古門前通大和路東入元町355〈担当者・井熊勇介〉
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 新人物往来社 102-0083 千代田区麹町3-2相互麹町第一ビル〈担当者・豊田達也〉
TEL. 03-3221-6031 FAX. 03-3221-6641
- 東京大学出版会 113-8654 文京区本郷7-3-1(東大構内)〈担当者・角田光隆〉
TEL. 03-3811-8814 FAX. 03-3812-6958
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17〈担当者・廣木理人〉
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1〈担当者・中村文江〉
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8〈担当者・榎 祐典〉
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16〈担当者・大和定幸〉
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入〈担当者・西村明高〉
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 101-0052 千代田区神田小川町2-4-17 大宮第1ビル6F〈休会〉
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13〈担当者・西田 智〉
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8〈担当者・横井真木雄〉
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2011年9月1日発行・第197号

発行 歴史書懇話会

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店